

千倉協事務局からのお知らせ

(271)

令和5年3月31日

千葉県倉庫協会事務局

TEL : 043-307-1581 FAX : 043-307-1582 E-Mail : chibakyo@s8.dion.ne.jp

《今月号の記事》

1. 第1回品目別部会・全体会議・講演会を開催しました
2. 令和4年度第4回総務委員会を開催しました
3. 「第76回通常総会」の開催について
4. 千葉県倉庫協会会長表彰の推薦について
5. 「今後の行事等」予定
6. 「令和5年の研修」の予定です
7. 事務局からのお願い・・・メール送信について
8. 3月8日開催の品目別部会報告

- ☆ 研修・セミナーの案内等はeメール・電話等により請求いただければ、再送いたします。
- ☆ このお知らせは各会員の連絡担当者の方に配布しております。皆様にご覧になれるようご配慮をお願いいたします。
- ☆ 異動等で連絡担当者に変更になる場合及びメールアドレスが変更になる場合には、ご連絡をお願いいたします。
- ☆ 関総連5協会とは、茨城、群馬、栃木、山梨と千葉県倉庫協会です。
6協会とは東京倉庫協会を加え、7協会とは神奈川倉庫協会を加えます。

1. 第1回品目別部会・全体会議・講演会を開催しました

令和4年度第1回品目別部会・全体会議は3月8日（水）ホテルグリーントワー幕張において開催しました。3年ぶりの開催とのこともあり、4部会の会議には49名の参加をいただき、全体会議後の講演会は55名が参加していただきました。

2. 令和4年度第4回総務委員会を開催しました

令和4年度第4回総務委員会は、3月22日（水）に開催しました。議事内容は、12月以降の役員、委員の交代、会員の移動、主な活動状況、仮決算等報告され、次に審議事項は今後の行動予定及び第76回通常総会の議案書（案）等が承認され、理事会に提案します。

3. 第76回通常総会の開催について

第76回通常総会は次のとおり開催します。事務局では、会員の皆様の参加をお待ちしております。尚、欠席の場合は「委任状」の提出をお願い致します。また、千葉県倉庫協会・千葉食糧保管協会合同懇親会も予定しております。
また、翌日26日には有志によるゴルフコンペを鴨川カントリーで開催をいたします。

日 時 5月25日(木)
場 所 鴨川グランドホテル
鴨川市広場820 TEL04-7092-2111

開始時間は次のとおり

14:00 千葉県倉庫協会第76回通常総会・協会長表彰
16:00 千葉食糧保管協会第42回通常総会
18:00 千葉県倉庫協会・千葉食糧保管協会合同懇親会

4. 千葉県倉庫協会会長表彰の推薦について

1月11日に倉庫業の永年勤続者候補者推薦を案内したところ、会員の皆様からの沢山の推薦がありました。

4月の理事会で審議し、受賞者を決定します。5月25日千葉県倉庫協会第76回通常総会において、千葉県倉庫協会会長表彰を行います。

5. 「今後の行事等」予定

4月19日(水) 午後: 第218回理事会
5月25日(木) 午後: 第76回通常総会

6. 「令和5年度の研修」の予定です

令和5年度の研修予定は、次のとおり日倉協と調整しています。なお、開催は茨城、山梨、埼玉、神奈川、東京と千葉県倉庫協会の連合で開催します。

ロジスティックス概論	令和5年6月
物流原価計算入門	令和5年6月
物流データ分析入門	令和5年6月
提案書作成基礎演習	令和5年6月
倉庫業務基礎研修	令和5年9月
提案書作成とプレゼン実践研修	令和5年11月
新入社員のための物流入門講座	令和5年7月
物流ABC実務専門研修Ⅰ (作業分析)	令和5年9月
物流ABC実務専門研修Ⅱ (コスト管理)	令和5年9月
物流ABC実務専門研修Ⅲ (ケーススタディ)	令和5年9月
倉庫業務改善管理者研修(2日間)	令和5年12月

プロジェクトマネジメント研修	令和6年1月
デザイン思考ワークショップ基本研修	令和5年10月
倉庫法令実務専門研修（1日コース）	令和6年1月
倉庫業務基礎研修	令和5年9月
倉庫業務フォローアップ研修	令和5年11月
倉庫管理主任者フォローアップ研修	令和5年11月
安全講習会	令和6年2月

7. 倉庫業に係る定期報告 . . . 事務局からのお願い . . .

定期報告書は、皆様から報告いただいたものを集計して、皆様にお返ししています。
また、皆様に代わり関東運輸局に報告しております。
皆様からの報告が遅れますと、関東運輸局への報告も遅れますので、お忙しいところ恐れ入りますが提出期限について、よろしくをお願いします。

報告書の提出期限 . . . **毎月翌月の20日** . . . 協会への提出期限です

- 月末倉庫使用状況報告書
- 受寄物入出庫高及び保管残高報告書

8. 品目別部会 各部会発表内容

(原材料部会)

原材料部会は15店社となっております。本日は3店社5名で原材料部会を開催いたしました。
原材料部会の取扱品目は、木材、非金属鉱物、鉄鋼、非鉄金属、紙・パルプ、雑品となっております。部会会員店社の大半が鉄鋼を取り扱っております。

鉄鋼の状況は、長引くコロナ渦並びに、半導体不足の影響で自動車の生産の低迷による需要減、更には建材関係の工事も減少しているため、各メーカーは鉄鋼の生産を調整しており、取扱減少となっております。

非鉄金属の状況は、鉄鋼の状況と同様に鉄鋼の生産数量減少により、取扱減となっている状況です。
木材の状況は、令和2年下期から令和3年上期にかけて輸入は激増したが出庫は低調であったため在庫過多となりました。その影響で令和3年下期から入庫が減少している状況です。出庫については長引くコロナ渦で住宅・公共工事の遅れにより低い水準で推移しています。

今後の動向について、鉄鋼・非鉄金属はコロナによる行動制限が解除され、需要が持ち直すと思われるが、引き続き半導体の供給不足が続く見込みであり、自動車の生産が低迷し、取り扱いは低い水準で推移すると予想されます。

木材については、引き続き在庫過多の状況、更には住宅・公共工事の需要が少なく、入出庫とも低い水準で推移すると予想されます。

(穀肥・食料品部会)

本日の穀肥・食料品部会は、12社16名が参加されました。

1 米穀関係

(1) 令和4年12月末現在の在庫状況等

ア 米 32,190 トン (前年同期 38,105 トン、▲5,915 トン減少、84.5%)

イ 令和4年10月～12月の3ヶ月平均

① 入庫動向 6,153 トン 前年同期 2,690 トン +3,463 トン増加

② 出庫動向 7,246 トン 前年同期 2,452 トン +4,794 トン増加

③ 残高動向 34,301 トン 前年同期 38,584 トン ▲4,283 トン減少

(2) 会員各社の現況と課題

ア 現況

- ・ 千葉県千葉港湾事務所が自動車船を優先するため、MA米の大型船は公共バース (F、H) に接岸することを拒否されてきましたが、千葉食糧保管協会が2018年から10回交渉する中で4年ぶりに接岸ができました。
- ・ 令和4年度千葉港のMA米の輸入は、昨年9月アメリカ米5,000トン1月タイ米3,000トンが入港しました。
- ・ 令和4年度千葉港のKR援助米の輸出は、昨年8月ハイチ向け1,786トン、3月モーリタニア向け1,358トン輸出する計画です。
- ・ 米の保管は、低温倉庫で穀温を常時15℃以下、庫内湿度60～65%に保持することが規定されています。

このため、冷房機を3～12月の間運転していますが、昨年は、電気代が値上がりし各社負担増となりました。4月から電気料金が再度値上げになるため更なる負担増となります。

イ 課題

- ・ 平成22年10月から、政府所有米穀の販売等業務の包括的な民間委託により保管業務を行っています。保管経費の計算方式が、期末在庫数量方式から一般的な積数計算方式へ戻すこと。
- ・ 電気料金の値上げに伴う保管料等の値上げ交渉が必要。

2 麦関係

(1) 令和4年12月末現在の在庫状況等

ア 麦 160,224 トン (前年同期 147,259 トン、+12,965 トン増加、108.8%)

イ 令和4年10月～12月の3ヶ月平均

① 入庫動向 66,880 トン、前年同期 86,728 トン ▲19,848 トン減少

② 出庫動向 80,326 トン、前年同期 105,673 トン ▲25,347 トン減少

③ 残高動向 178,685 トン、前年同期 183,577 トン ▲4,892 トン減少

(2) 会員各社の現況と課題

ア 現況

- ・小麦は外食が伸びないため在庫量が1割程度減少している。
- ・多産地及び多品種の取り扱いになりロットが多くなっている。このため清掃にコストが係る。
- ・電気料金が数千万円上がっている。
- ・バース使用料を10%値上げした。
- ・サイロ設備が老朽化のためメンテナンス経費が増加している。

イ 課題

- ・電気料金の値上げに伴う保管料等の値上げの検討が必要。

3 飲料関係

(1) 令和4年12月末現在の在庫状況等

ア 飲料 53,780 トン（前年同期 53,209 トン、571 トン増加、101.1%）

イ 令和4年10月～12月の3ヶ月平均

- ① 入庫動向 93,813 トン、前年同期 93,178 トン 635 トン増加
- ② 出庫動向 92,766 トン、前年同期 91,724 トン 1,042 トン増加
- ③ 残高動向 52,224 トン、前年同期 50,018 トン 2,206 トン増加

(2) 会員各社の現況と課題

ア 現況

- ・酒類はコロナによる家飲み需要で1.5倍になっている。
- ・電気料金の高騰に対し新電力に切替しコスト減を図っている。
- ・配送のトラック燃料が値上がりし負担増になっている。

イ 課題

- ・燃料の高騰による運賃の値上げ交渉が必要。

*穀肥・食料品部会としては、共通な課題として電気料金等の負担増及び人件費の引上げが課題となっています。

(化学品部会)

参加店社 11社 15名にて検討を実施

化学品は、全体の約80%を合成樹脂が占めている。また、合成樹脂は、自動車、家電、日用品等に使用されており、日常生活においても、身近に多くみられる素材である。

2020年、コロナ禍の発生により、コンテナ不足、海上運賃の高騰が発生し、輸出環境が大きく悪化した。

また、半導体不足による自動車産業の低迷、ウッドショックにより、建設業も低迷した。

上記の経済環境の悪化から、合成樹脂は輸出、国内出荷が低迷し、倉庫に在庫が積み上がるという事態が発生した。

石化メーカーの工場がある市原、袖ヶ浦地区の倉庫では賄いきれず、倉庫業者は庫腹を確保する為、

山武市、柏市などの遠方の倉庫も利用せざるを得ない状況となった。出荷が低迷している為、倉庫の貨物回転率が低下し、倉庫業は低収益事業となりつつある。

石化メーカーは、生産調整に入りつつあるが、昨年のロシアによるウクライナ侵攻以降、エネルギー価格の上昇、原材料費の高騰に端を発した物価上昇から消費の低迷が危惧されており、生産を減らしても、在庫が積み上がる可能性もあり、先行きが見通せない状況が続いている。

化学品の中には、危険品があり保管に関して温度管理、換気が必要となる貨物がある。温度管理、換気には多大な電力が必要であり、今後予定されている電力各社による大幅な値上げによるコスト増加を、料金に転嫁できるのかが大きな課題となっている。

肥料に関しては、中国が原料輸出を禁止したことから、商品不足が発生し、一時期在庫を大きく上げた。しかしその後、政府による備蓄政策が功を奏し在庫を確保できる状態になった。

コロナ禍による生活の変化、消費動向の変化により、出荷単位の減少と、出荷件数の増加傾向が強まっている。トレーラー出荷が4トン車2台で2ヶ所に納入するといった形態です。化学品は工場等に大量に納品することが主であったが、なぜこのように変化してきたのかは定かでない。

現在、コロナ禍による生活の変化、ロシアによるウクライナ侵攻に伴う食品、エネルギー価格の高騰、物価上昇等、過去に経験したことのない混沌とした経済環境に置かれている。

また、石化メーカーの動向（生産調整）を注視する必要もある。

これらのことを総合的に勘案し、今後の物流動向を見極め、倉庫業がどうあるべきかを検討し、柔軟な対応力と、新しいサービスを展開する必要がある。

（機器・製品部会及びトランクルーム連絡会）

本日は8社、10名にて意見交換を行ってまいりました。

我々が取り扱っているものとしましては、金属製品・電気機械・その他機械・繊維関係・雑品・トランクルーム・文章保存という事になります。

全体的には若干上向きと、品目によっては右肩下がりであります。金属製品、電気機械、化学繊維織物、日用品について在庫が3年より増加傾向にあります。一方、織物製品（アパレル）、雑品はコロナ禍の影響もあり入出庫の減少、在庫高も減少しております。

今、文章電子が注文も集めておりますが、スタッフによる手作業のため本格導入に向けては、苦労しており、潜在的な市場ではあるが、営業拡販してコストを掛けずに電子化するかが課題となっております。トランクルームはこれから伸びていく市場ですが、初期投資、債権回収リスクもあり、大きな施設を構えての導入にまだ進んでいないようです。

各社共通の課題として、人で不足への対応と2024年問題での配送へ影響が、様々の取組をされておりますが、大きな解決策には至っていない状況です。

簡単ではありますが、機器・製品部会の報告は以上でございます。

千葉県倉庫協会のホームページ

<http://www.soukoweb.jp/chiba/index.htm>

- ① 事務局からのお知らせ
- ② 会員のページ（毎月の残高報告）